



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>



済生会

わかやま

NEWS

第30号

発行日: 2015.6



～ 理念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、
信頼され、患者さんも職員も元気が
出る病院をめざします。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

看護部長 黒田美也子



平成27年4月1日付をもちまして看護部長に就任いたしました。どうぞよろしく
お願いいたします。

少子高齢化社会の進展に伴い、社会保障・税一体改革大綱では2025年に向け
医療提供体制の再構築と地域包括ケアシステムの構築という2つの大きな「将来
のあるべき姿」が示されました。医療施設は、今後ますます病院・病床の機能分化・
強化が進められ、病診連携、医療・介護連携等により必要なサービスを確保しつつ、一般病棟における長期
入院の適正化を推進する必要があります。

急性期医療を担う当病院は、急性期の患者さんに対し、状態の早期安定に向けて医療を提供し、在宅復
帰につながるよう地域連携の推進が求められていると考えます。

医療・看護の現場は、24時間を通じて治療の高度化・複雑化、医療費抑制政策による在院日数短縮の
入退院の促進、リスクマネジメント等厳しい環境にあります。看護師は、専門的な知識・技術の習得はもち
ろんのこと、このような状況に対応する多種多様な能力が必要とされています。その中であって、当病院の
方針でもあります安心・安全で質の高い医療・看護の提供が求められております。24時間365日患者と
深いかわりを持っている看護職員の一人一人の資質が、医療・看護の質に影響を与えているといっても過
言ではありません。安全と安心をもたらす質の高い看護を提供するためには、看護職員の教育システムを充
実・強化し、看護職員個々の能力向上を目指すとともに、専門的な知識・技術を持った専門看護師・認定
看護師の育成がますます必要であると考えます。さらに看護管理者として、患者さんの満足と同時に看護
職員の満足度もいま以上に高めてゆけるような取り組みをしたいと考えております。

地域の方々から信頼される質の高い看護の提供、地域連携、自宅・居住系介護施設等への退院が促進さ
れる中、看護の連携を密にし、切れ目の無い看護が提供できることを目標に看護職員一同頑張っており
ますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。

下肢静脈瘤に対する新しい治療法

心臓血管外科 医長 畑田 充俊

2011年より下肢静脈瘤血管内焼灼術、2014年から内視鏡下筋膜下穿通枝切離術が保険適応となりました。済生会和歌山病院でもこれらの術式を導入しましたので、紹介させていただきます。

□下肢静脈瘤とは？

下肢の静脈には血液が重力によって足先へ逆流しないように弁がついていますが、それらの弁が壊れると血液の逆流が起こり、うっ血が生じて血管の拡張や蛇行することによりコブができます。下の写真のようになります。これが下肢静脈瘤です。長時間の立ち仕事の方、妊娠・出産後の方、高齢者の方に多く発生します。



両下肢に大伏在静脈の瘤化を認める。

□下肢静脈瘤の症状

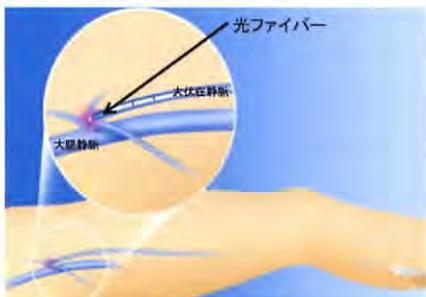
足の静脈がコブ状になります。下肢が、かゆい・だるい・重い・疲れる・ほてるや、歩行時もしくは就寝中に、こむら返り（足がつる）といった症状があります。重症例では皮膚硬結・皮膚炎や湿疹があります。最終的には皮膚が黒くなる・潰瘍ができています。

□治療法

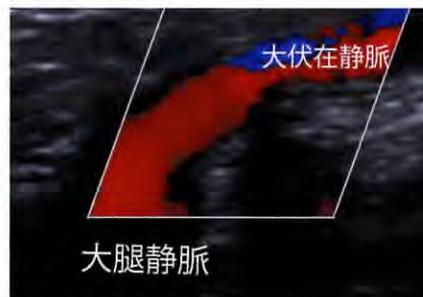
病気の進行状況により、弾性ストッキングによる圧迫療法（保存的治療）や手術療法を選択します。手術療法としては、硬化療法、高位結紮術、抜去術（ストリッピング術）、そして最新の治療法として血管内焼灼術、内視鏡下筋膜下穿通枝切離術があります。

□血管内焼灼術

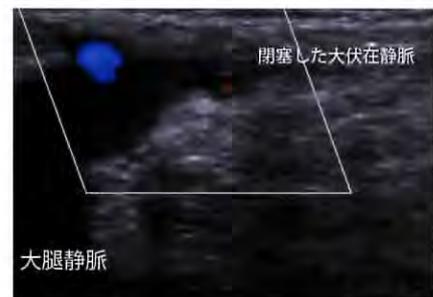
血管内焼灼術は、血液の逆流がある静脈内にカテーテルを挿入し、血管にレーザーまたはラジオ波を照射し静脈を閉塞させる治療法です。適応としては抜去術（ストリッピング術）とほぼ同じで、伏在静脈に弁不全を有する一次性下肢静脈瘤が適応となります。



血管内焼灼術(手術模式図)



術前血管エコー：大腿静脈より大伏在静脈へ血液の逆流を認める。



術後血管エコー：大伏在静脈の閉塞を認める。

カテーテルを穿刺で挿入するために、低侵襲であり、美容的効果が高いと言った利点があります。抜去術（ストリッピング術）では出来なかった抗凝固療法・抗血小板療法中の患者や、高度肥満患者でも適応となります。

術後に皮下出血や疼痛を認めることがありますが、約2-3週間で改善します。

重篤な合併症としては、焼灼による血栓が深部静脈まで形成される深部静脈血栓症がありますが、0.1%以下と稀です。

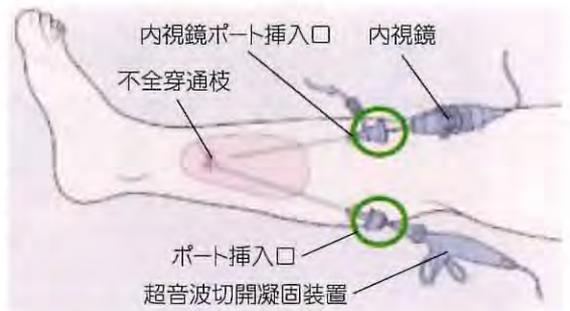


血管内焼灼術中風景

□内視鏡下筋膜下穿通枝切離術

うっ滞性皮膚炎・潰瘍になった場合には、エコーなどでよく調べてみると表在の静脈瘤だけではなくその皮膚病変のすぐ近くに不全穿通枝と呼ばれる深部静脈との交通枝がありその逆流が皮膚症状の原因となっているケースもあります。皮膚症状の原因となる不全穿通枝が見られた場合はその逆流を遮断するのが治療となりますが、炎症のある部分の皮膚切開をする場合は要注意でメスを入れた所が新たに潰瘍になり難治となることがあります。そこで細い内視鏡を使って少し離れた部位からアプローチして痛んだ皮膚の下にある穿通枝を遮断する内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術と呼ばれる治療法があります。この手術は厚生労働省認可の施設でのみ可能となっており、当院は和歌山県内で唯一の施設です。

当院では今後も最新治療を導入して、地域の先生方に貢献できるよう努力していきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。



内視鏡静脈瘤手術中風景

～和歌山東臨床研究会開催について～

1月17日(土) ダイワロイネットホテルにて、和歌山東臨床研究会を行いました。

今年もたくさんの先生方にご参加いただき、ありがとうございました。

今回の特別講演は、近畿大学医学部整形外科講師 三木健司先生による『神経障害性疼痛と機能的疼痛に対する薬物治療、運動療法』についてご講演いただきました。

開業医の先生方からは、日々の診療では身近なテーマであり、大好評でした。

尚、7月25日(土)には、登録医総会の開催を予定しています。先生方とお会いできる日を、スタッフ一同楽しみにしておりますので、ご参加お待ちしております。



三木健司先生の講演



情報交換会にて

～ 赴任のお知らせ ～



4月1日より赴任しました北山真理(きたやままり)と申します。

前任の和歌山県立医科大学脳神経外科では脳神経外科一般、救急疾患と脊椎脊髄外科の診療に携わっていました。主には頚椎や腰椎の変性疾患の手術を行っています。

精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



4月から外科でお世話になります青石裕香(あおいしゆか)です。和歌山県立医大第1外科:呼吸器乳線外科に所属しています。知識も技術もまだまだ未熟ですが、できることは率先して、わからないことは教えていただきながら自分のものにしていきます。少しでも役立てることが増えるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

济生会和歌山病院外来診療予定表

(平成27年5月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	山原 邦浩	—	山原 邦浩	—	川口 雅功
		—	—	川口 雅功	—	—
	糖尿病代謝内科	—	—	—	巽 邦浩	—
		巽 邦浩	英 肇	荒古 道子	英 肇	荒古 道子
循環器内科	—	辻岡 洋人	—	—	—	
	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	辻岡 洋人	大鹿 裕之	
脳神経外科	山家 弘雄	仲 寛	山家 弘雄	仲 寛	林 靖二	
	三木潤一郎	—	北山 真理	三木潤一郎	—	
外科	—	高垣 有作	—	—	—	
	重里 政信	青石 裕香	重里 政信	—	中村 恭子	
	—	—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科	畑田 充俊	—	栗山 雄幸	栗山 雄幸	畑田 充俊	
整形外科	山東 茂樹	原田 悌志	新患診	松崎 交作	瀧口 登	
	瀧口 登	山崎 悟		山崎 悟	原田 悌志	
	西山 大介	—		西山 大介	—	
リハビリテーション科	医大応援医師	湯田 啓之	湯田 啓之	湯田 啓之	湯田 啓之	
耳鼻咽喉科	—	—	医大応援医師	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼科	金 桂 洙	宮本 武	—	★森摺也/田中公子	白井 久美	
皮膚科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌尿器科	—	—	樋口 雅俊	—	柑本 康夫	

※外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。

【受付時間】 午前（全科） 8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

- *腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
 - *月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。
 - ★木曜日の眼科は隔週で医師が変わります。
 - *水曜日はストーマ外来を実施しています。
- (予約制・初診の方は紹介状が必要です)

*当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂く場合がございますのでご了承ください。

診療案内

診察日：月～金曜日
 受付時間：午前8時30分～午前11時(但し、予約患者はこの限りにあらず)
 休診日：土・日・祝祭日(年末年始)
 面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187